

住まいや農地そして“家族の一員”だった牛を手放し、祖先が眠る墓さえも残して故郷を去っていく飯舘村の人々・・・ 福島原発からは30キロ以上離れていて当初は避難者を受け容れていた村が大量の放射能に汚染されていて、一転全村避難へ・・・

## 映画「飯舘村」第1章 故郷を追われる村人たち



2011年3月11日から4年半が過ぎました。未だに飯舘村は全村避難が続いています。この映画は、誰も予想しなかった村人たちの困難な実態を、二家族の酪農家が村を追われていく過程を縦軸に、放射能に汚染された村からの避難をめぐる、こどもたちの被ばくを恐れる親と“村”という共同体を残そうとする村長との軋轢を横軸にしながら描かれたドキュメンタリー映画です。

\*監督：土井敏邦（佐賀県生まれ）

\*映画はすでに続編が公開されています。『飯舘村～放射能と帰村』（約2時間）です。上映会の際は是非おいでください。

日時

平成27年9月30日（水）

18時開場 18時30分開演

<上映約1時間>

入場料

無料



会場

甘木地域センター フレアス甘木  
朝倉市甘木 764-21

<甘木中央公園 東側> TEL 0946-22-2117

【主催】 甘木地区コミュニティ協議会街作り部会

【お問い合わせ】 フレアス甘木 0946-22-2117